

洲本市域学連携事業10周年シンポジウム
「地域交流拠点施設“よりまち荘”リノベーション事業」

洲本市 × 大阪工業大学 連携事業

2023年10月18日

大阪工業大学

工学部 建築学科 藤井 伸介

研究支援社会連携推進課 藤本 亮

本日の流れ

学校法人常翔学園 大阪工業大学について

地域連携事業としての取組み事例紹介

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

学校法人常翔学園について

【学園の基本情報】

設立者・校主 本庄京三郎、初代校長 片岡安により「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。」ことを目的として創設された

◆ 沿革

- 1922年 関西工学専修学校を開校
- 1948年 摂南学園中学校・高等学校を開設 ※常翔学園高等学校の前進
- 1949年 摂南工業大学を開設 ※大阪工業大学の前進
- 1950年 大阪工業大学短期大学部 開設 ※2006年に廃止
- 1957年 啓光学園中学校を開設
- 1960年 啓光学園高等学校を開設
- 1975年 摂南大学を開設
- 1998年 広島国際大学を開設
- 2011年 常翔学園中学校を開設
- 2013年 常翔啓光学園中学校・高等学校と合併

学校法人常翔学園について

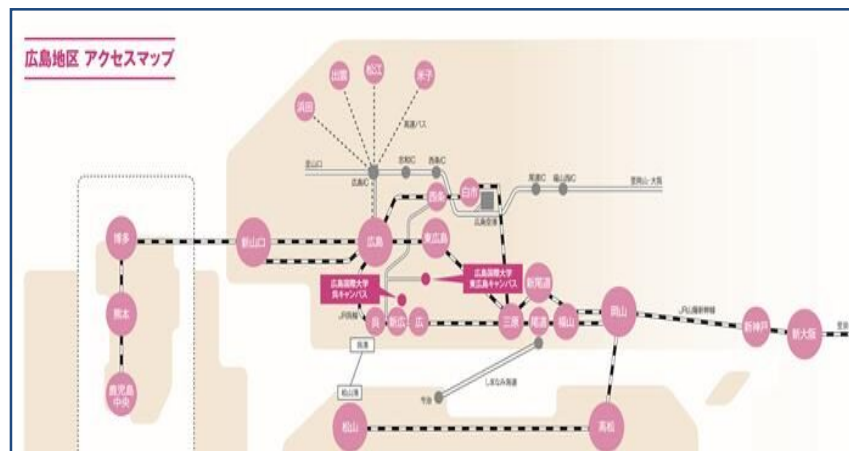
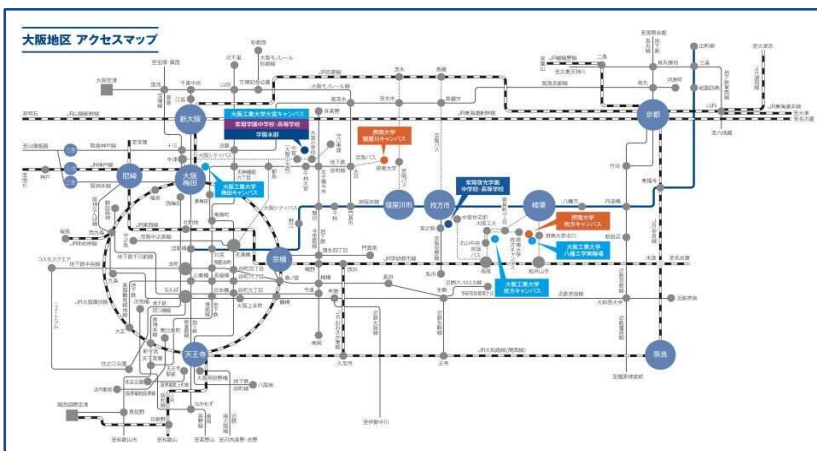
◆ 設置学校

大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学、常翔学園中学校・高等学校、
常翔啓光学園中学校・高等学校、計7学校を設置する総合学園

◆ 在籍学生・生徒数

25,387人（2022年5月1日現在）

◆ 各学校所在地



大阪工業大学について

大阪工業大学

Osaka Institute of Technology



大阪工業大学について



大阪工業大学について

◆大阪工業大学の教育理念

社会・時代の要請に応え、専門学術の基礎と実践的応用力を身に付けるとともに、広い視野と豊かな人間性を涵養し、新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた、専門職業人を育成する。

◆大阪工業大学が目指す将来像

- 1) 実践的な教育と、その教育との連携のもとに推進される研究成果により持続可能な社会の実現に貢献する。
- 2) 地域に根差す大学というアイデンティティを保持しつつ、グローバル化が進行する社会の発展を支援する。
- 3) 私立で関西唯一の理工系総合大学として、独自のポジションを確立する。

◆大阪工業大学の中長期目標（2023～2037年度）

- 1) 社会・時代の要請に呼応した学部・学科の再構築および教育・研究環境を整備する。
- 2) 学修成果〔専門知識・技術および汎用的能力（対人能力、自己管理能力、課題解決能力）〕の可視化を通じ教育の質を保証する。
- 3) グローバル化が進行する社会で活躍できる人材を育成する。
- 4) 地域・産業界・公的機関との連携により教育・研究を充実させ、合わせて社会に貢献する。
- 5) 最先端の知識と技術を活用し、教育・研究・大学運営を高度化する。

大阪工業大学について

◆大阪工業大学の中長期目標（2023～2037年度）

1) 学生・生徒募集

堅実な学生確保と社会の動向を見据えた入学者選抜を実現する。

2) 教育・研究

最先端の知識と技術の活用、教育・研究環境・支援体制の充実により大学の基盤たる教育・研究の充実と高度化を促進し、教育の理念に謳う人材を着実に育成する。

3) 学生支援

すべての学生が学生生活を通して広い視野と豊かな人間性を涵養し、学生の資質および能力を如何なく発揮できるようハード・ソフト両面での多様な支援を展開する。

4) 進路・就職

「就職に強い大阪工大」の地位を堅持する。

5) 人事

FD・SD活動により人的資源の視点での総合的な組織強化推進を図る。

6) 財務

中期目標・計画の達成のための財源を確保するとともに、本学が持続的に発展するために収支構造を改善する。

7) 学校間連携

学園内設置学校の各種連携強化により、常翔学園全体としての教育力強化および一体的な運営の実現を図る。

大阪工業大学について

◆大阪工業大学の中長期目標（2023～2037年度）

8) ブランディング

多くの優秀な人材を世の中に送り出すことで「選ばれる大学」として永続的な成長と発展につなげる。

9) 社会貢献

地域の理工系総合教育拠点としての活動を強化する。

10) グローバル化

グローバル化が進行する社会で活躍できる人材を育成する。

11) 学部・学科の再構築（新設・改組・再編）

建学の精神、教育の理念、将来像を踏まえ、社会・時代の要請に呼応した学部の新設および既設学部・学科（大学院研究科・専攻を含む）の改組・再編を行う。

12) 教育DX化計画

教育のDX化を積極的に推進し、デジタル技術を活用した教育手法の構築と実践により、教育の高度化と質的向上を図る。

大阪工業大学について



枚方キャンパス

〒573-0196 枚方市北山1-79-1

情報科学部

データサイエンス学科
情報知能学科
情報システム学科
情報メディア学科
ネットワークデザイン学科

梅田キャンパス

〒530-8568 大阪市北区茶屋町1-45

ロボティクス&デザイン工学部

ロボット工学科
システムデザイン工学科
空間デザイン学科

Campus Map

大宮キャンパス

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

工学部

都市デザイン工学科
建築学科
機械工学科
電気電子システム工学科
電子情報システム工学科
応用化学科
環境工学科
生命工学科

知的財産学部

知的財産学科



大阪工業大学について

【2023年5月1日現在（単位：人）】

学 部	学 科	学 生 数
工学部	都市デザイン工学科	428
	建築学科	615
	機械工学科	575
	電気電子システム工学科	531
	電子情報システム工学科	492
	応用化学科	535
	環境工学科	289
	生命工学科	305
	小 計	3,770
ロボティクス＆ デザイン工学部	ロボット工学科	412
	システムデザイン工学科	391
	空間デザイン学科	453
	小 計	1,256

大阪工業大学について

学 部	学 科	学 生 数
情報科学部	データサイエンス学科	211
	情報知能学科	399
	情報システム学科	435
	情報メディア学科	444
	ネットワークデザイン学科	414
	小 計	1,903
知的財産学部	知的財産学科	598
学 部 合 計		7,527
工学部	工学研究科	352
ロボティクス&デザイン工学部	ロボティクス&デザイン工学研究科	91
情報科学部	情報科学研究科	78
知的財産学部	知的財産研究科（専門職学位）	98
大 学 院 合 計		619

本日の流れ

学校法人常翔学園 大阪工業大学について

地域連携事業としての取組み事例紹介

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

地域連携事業としての取組み事例について

中期目標・計画においても、産業界・行政・地域などとの関係強化の基本方針として定めています。

本学の取組み内容はH Pに「社会・地域連携」ページにも掲載しており各自治体広報誌やマスコミへのプレリリース等で積極的に発信をしています。

大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

受験生の方 在学生の方 卒業生の方 採用ご担当の方 保護者の方 地域・一般の方（社会・地域連携）

大学紹介 学部・大学院 産官学連携・研究支援 学生生活 就職・キャリア形成 教育・研究施設 国際交流

大阪工業大学にご寄付をお考えの方 資料請求 お問合せ アクセス

トップページ > 社会・地域連携

社会・地域連携

ニュース

- トピック** 23.07.10 大阪市旭区と連携して小学校プログラミング教育を実施しています Ver.2
- お知らせ** 23.06.28 【等 価】オンライン3大学公開講座「親が知っておくべきこと、シェアしませんか？～新しい時代を、よりよく生きるために～」を開催します！
- トピック** 23.06.16 大阪市旭区と連携して小学校プログラミング教育を実施しています
- トピック** 23.06.09 あさひファン★フェスタに出展しました
- トピック** 23.05.29 奈良県川上小学校で親子理科教室を実施しました
- イベント** 23.05.29 6/4（日）あさひファン★フェスタに出展します！
- トピック** 23.03.20 3/6（月）旭区大宮小学校においてドローン操縦体験教室を実施しました

地域連携事業としての取組み事例について

自治体、教育委員会等との包括連携協定については、永続的に持続可能な連携及び相互の発展に寄与することが期待される場合に締結し、協定書に具体的な連携内容を定めています。

連携協定締結先	締結年月
大阪府教育委員会	平成19（2007）年12月
守口市教育委員会	平成20（2008）年11月
大阪市旭区	平成21（2009）年1月
北大阪商工会議所	平成21（2009）年10月
奈良県吉野郡川上村	平成22（2010）年7月
大阪府枚方市	平成25（2013）年2月
奈良県吉野郡十津川村	平成26（2014）年6月
大阪商工会議所	平成29（2017）年4月
大阪府	平成29（2017）年6月
大阪府堺市教育委員会	平成29（2017）年7月
大阪市北区	平成30（2018）年3月

地域連携事業としての取組み事例について

1. 運営方針（HP抜粋）

社会・地域連携

運営方針と行動計画

運営方針

大阪工業大学は「教育」「研究」に加え「社会貢献」を第三の使命として位置づけ、地域社会の一員としての自覚のうえに社会との連携強化を図りながら、本学の専門性を生かした知的・人的資源を活用することで、地域社会の発展に寄与します。

行動計画

主に自治体、教育団体、公共団体等との連携により次の事業を推進します。

- 青少年育成事業（主に理科教育）
- 地域住民向け公開講座や体験教室など生涯教育事業
- まちづくり、賑わい創出事業
- 行政活動に対する助言・提言
- 遠隔過疎地域活性化事業および災害復旧活動
- その他、社会貢献、地域連携に関する事業

2. 主な活動内容

1) 奈良県川上村との連携事業

・R&D工学部の連携授業「川上村源流学」

ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰの1プログラムで、村民や役場職員から吉野川の水源地である同村の取組みを学び、村の抱える課題解決に取り組んでいます。



地域連携事業としての取り組み事例について

2. 主な活動内容（続き）

・PRコンテンツ製作プロジェクト

情報科学部情報メディア学科のPBL（課題解決型学習）授業の一環で、学生達が映像・音声・音楽・文字を組み合わせるマルチメディア技術を駆使したコンテンツづくりにより地域活性化を目的に活動しています。

・川上小学校親子理科教室

ものづくりセンターの講師による「キッズものづくり道場」を実施2学年ごとに分かれ3つのテーマで講座を開講しました。

2) 大阪市旭区との連携事業

・区内小学校プログラミング教育

旭区内の市立小学校全10校の小学6年生を対象に「プログラミング体験学習」を実施しました。

・あさひファンフェスタ（旧：城北公園祭り）への出展

旭区役所主催で「あさひファンフェスタ」が城北公園で開催され、本学から「体験・展示コーナー」として4ブース出展、地域の方々とふれあい交流しました。

・魅力発信イベント「キーワードラリー」

キーワードラリーを通じて地域商店街をはじめとする区の魅力を多くの人に触れてもらい活性化に繋げていく取り組みです。期間中、本学正門横にのぼり旗を設置しました。



地域連携事業としての取組み事例について

2. 主な活動内容（続き）

・旭区制90周年記念「LINEスタンプ」の製作

本学漫画研究部が携わった旭区のマスコットキャラクター「しょうぶちゃん」のLINEスタンプが完成しました。

3) 枚方市との連携事業

・生涯学習市民センターでVR防災トレーニング教室

小学生向け防災教室「親子で体験!VR防災トレーニング地震体験」を実施、小学1年生から6年生までの児童・保護者とともに災害における疑似体験を行いました。

・KUZUHA MALLで防災脱出VRゲームを体験

「くずは秋の芸術祭」に記念ブースとして「防災脱出VRゲーム」を出展、摂南大学からは農学部の「すももちゃんサイダー」を出店するなど、会場は多くの人で賑わいました。

・BCPセミナー

枚方市・北大阪商工会議所・東京海上日動火災保険株式会社との四者連携協定に基づく「地域防災力向上」の取組みの一環として、枚方市総合文化芸術センターにて、災害等の緊急事態における事業継続計画の策定セミナーを実施。本学から「VR防災訓練シミュレーション」の体験展示を行いました。



地域連携事業としての取り組み事例について

2. 主な活動内容（続き）

・ソーシャルオープンイノベーションチャレンジ

枚方市・北大阪商工会議所と連携し、地域課題解決プロジェクト「Hirathon」を設立、今年度ステークホルダー対象地域の拡大により、「ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジ」に改称。健康、観光、地域振興などの地域課題に対し、枚方市が提供する公共オープンデータなどを活用し、AIデータサイエンス的アプローチで、アイデア創出の「アイデアソン」、システム開発の「ハッカソン」形式で課題解決をめざしています。



4) 大阪市北区との連携事業

・北区放置自転車の削減

大阪市内は自転車に関するマナー違反が目立つとともに、駅や商業施設周辺での放置自転車による通行障害などが深刻な社会問題となっています。同研究室の学生らは4チームに分かれて、北区を対象に、この課題を解決するための提案をそれぞれのチームから行いました。



・豊崎中学校の防災訓練（地域防災に係る取り組み）

ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰの課題を通じて制作した3Dコンテンツを使って「災害への備えと避難生活について」説明しました。本学と大阪市北区との連携事業の一つで「地域防災に係る取り組み」の一環で、同校生徒約180人が参加しました。



地域連携事業としての取組み事例について

3. 今年度からの活動

◆兵庫県洲本市との連携事業

・地域交流拠点施設のリノベーション

洲本市の域学連携事業として、今年度から新たに連携事業がスタート。「大学の知見、若い人材の活用、地域の活性化」×「学生の育成、実践の場、教育研究のフィードバック」の観点から、洲本市職員や地域おこし協力隊と共に、大阪工業大学と洲本市が共同で「地域交流拠点施設のリノベーション」を実施。本学、工学部建築学科の学生・大学院生が本取組みに参加しています。

◆京都府舞鶴市との連携事業

・AR/VRを活用した街おこしコンテンツ

舞鶴市の地元人材・企業活性化事業として、空きビル・テナント・地域資源（観光施設・遺産等）・未利用地域資源を活用した連携事業を展開予定。本学、ロボティクス&デザイン工学部空間デザイン学科の学生等が本取組みを実践予定です。

本日の流れ

学校法人常翔学園 大阪工業大学について

地域連携事業としての取組み事例紹介

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

◆はじめに

本事業は、本学の“地域連携事業の展開”をきっかけにはじまりました。

当初は、プログラミング教育や防災講座などの出前授業・公開講座など、地域課題の発掘・解決をテーマにお問い合せしたところ、「域学連携事業」のお話をいただきました



◆交流拠点施設“よりまち荘”の紹介

「域学連携事業」の一環で地域交流拠点である施設のリノベーションをご紹介いただき、本学 建築学科 藤井伸介 特任准教授および所属の学生・大学院生、また、地元関係者 地元工務店指導者のもとリノベーションを開始しました。

目次

- 1) 着工までのフロー
- 2) 完成イメージ
- 3) 作業工程&作業写真
- 4) メディアへの掲載
- 5) 今後の方針

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・ 洲本市元町リサーチ



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・ 洲本市元町リサーチ



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・古民家実測



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・古民家実測



5月



6月



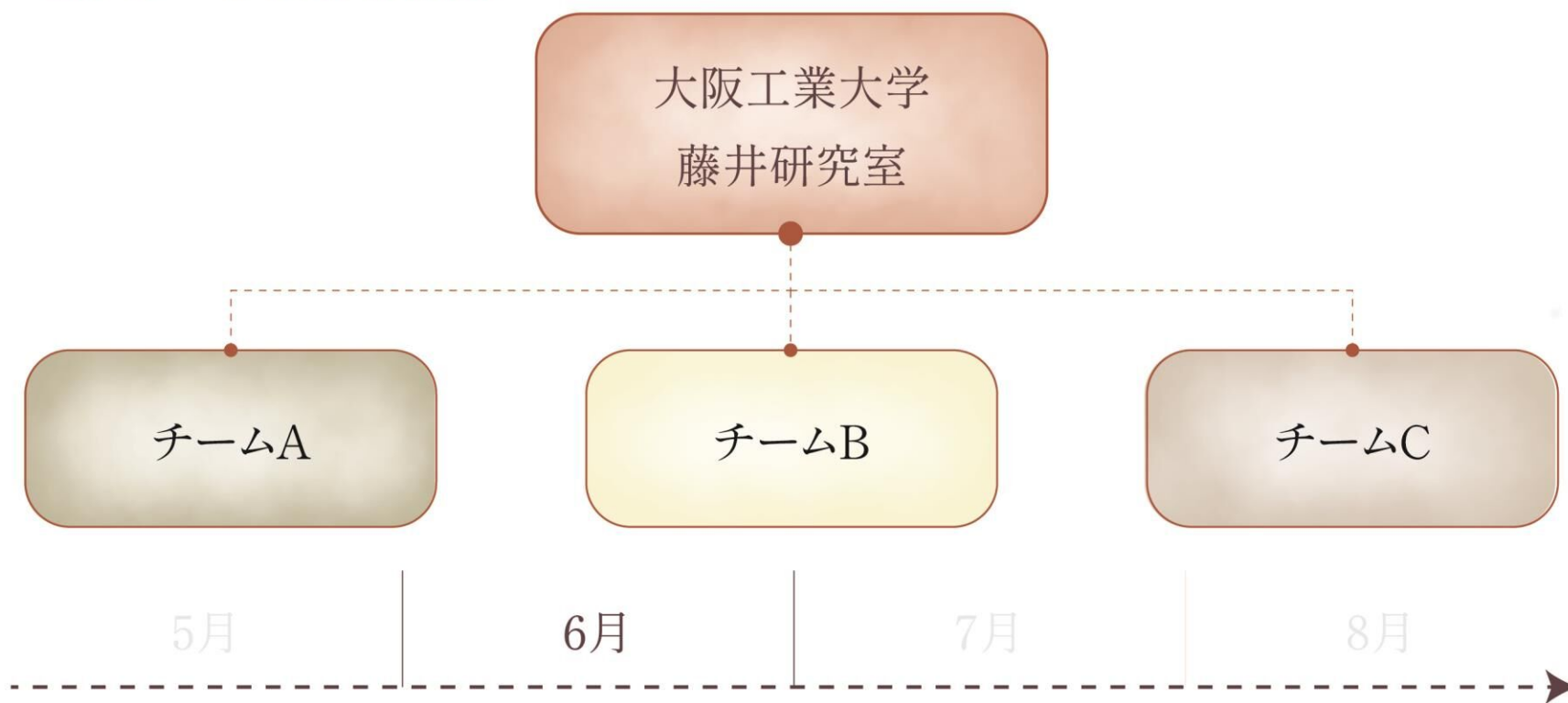
7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案



洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームA



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームA



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームB



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームB



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームB



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームC



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・3グループによる提案

チームC



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

2) 完成イメージ

・最終提案

大阪工業大学
藤井研究室



5月

6月

7月

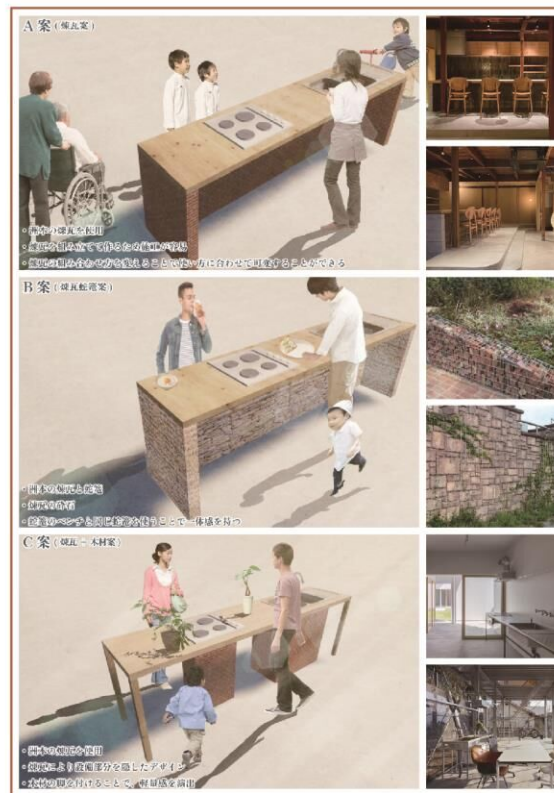
8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・最終提案

大阪工業大学
藤井研究室



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・最終提案

大阪工業大学
藤井研究室



5月

6月

7月

8月

洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

1) 着工までのフロー

・最終提案

大阪工業大学
藤井研究室



5月

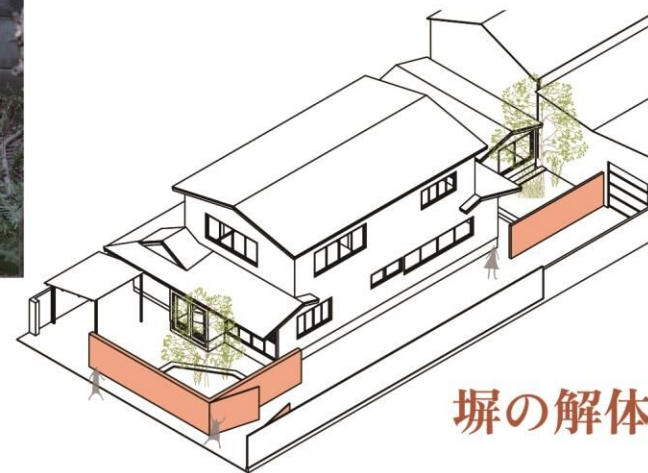
6月

7月

8月

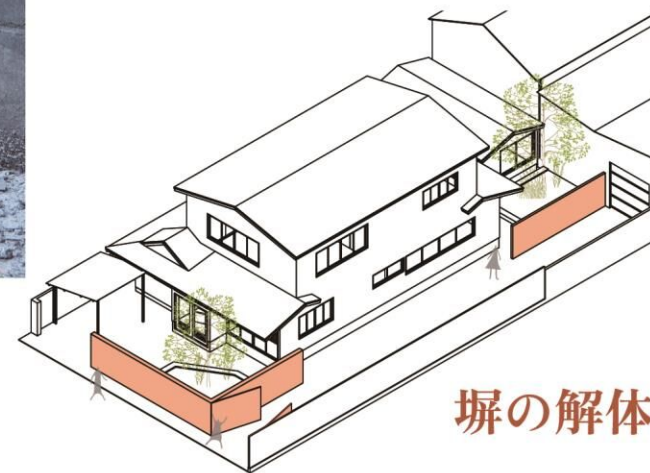
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



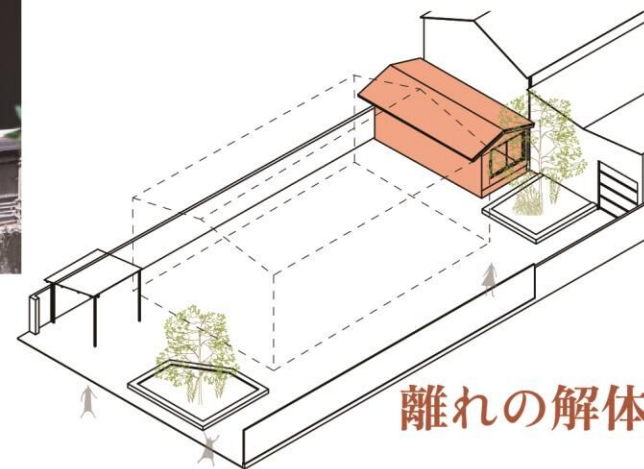
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



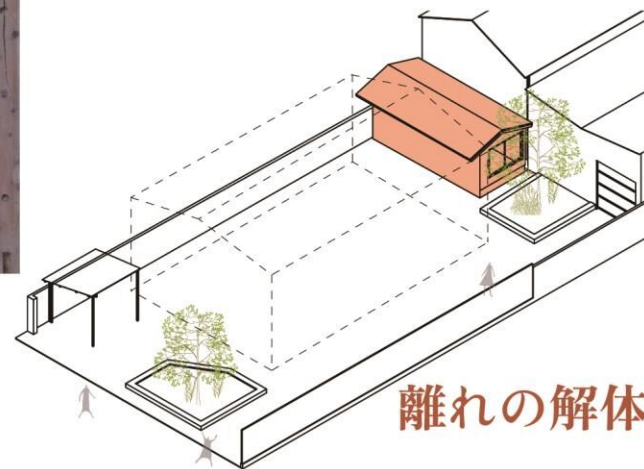
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



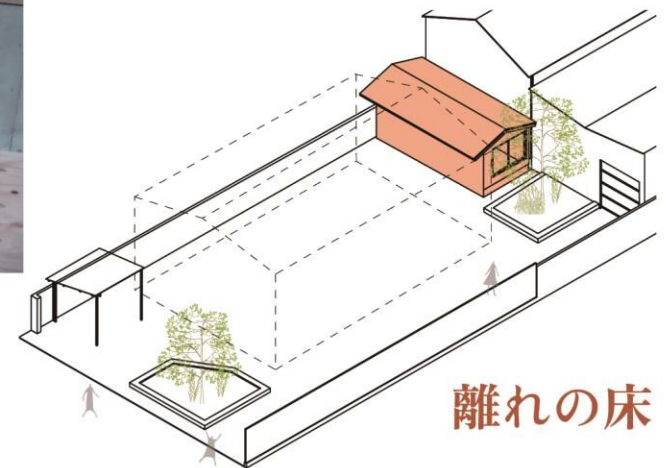
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



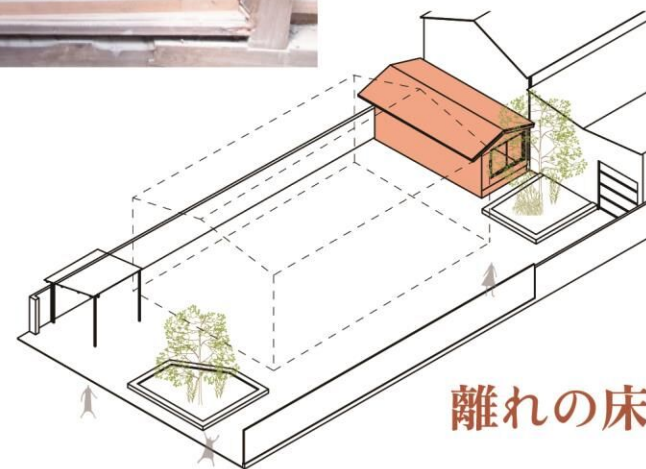
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



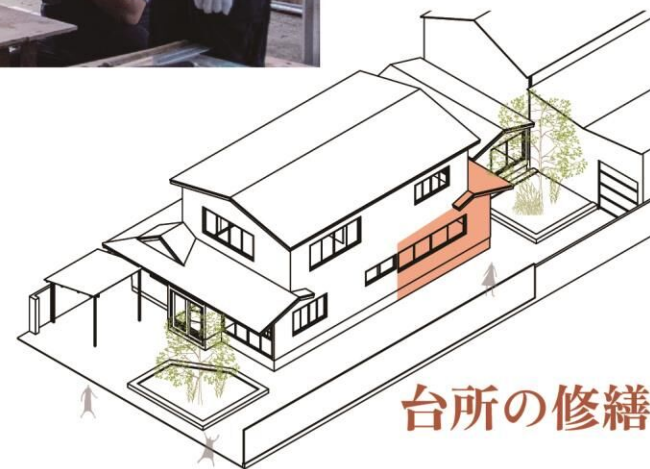
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



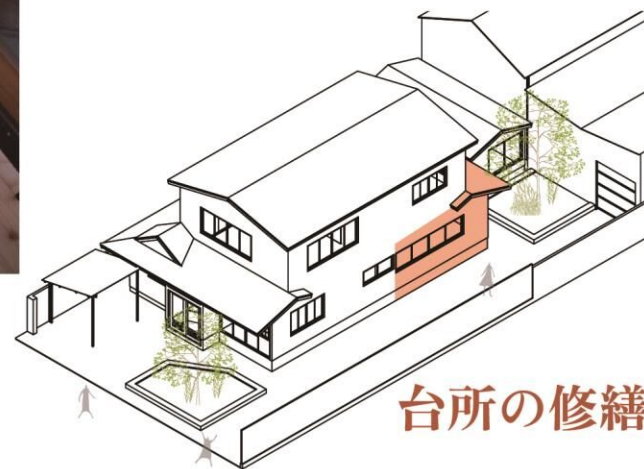
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



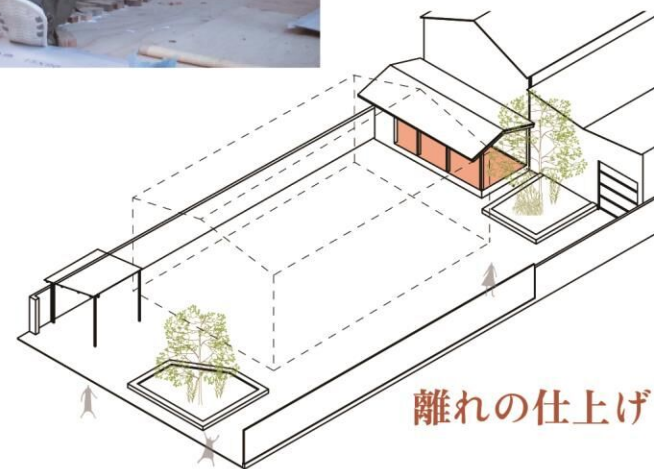
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



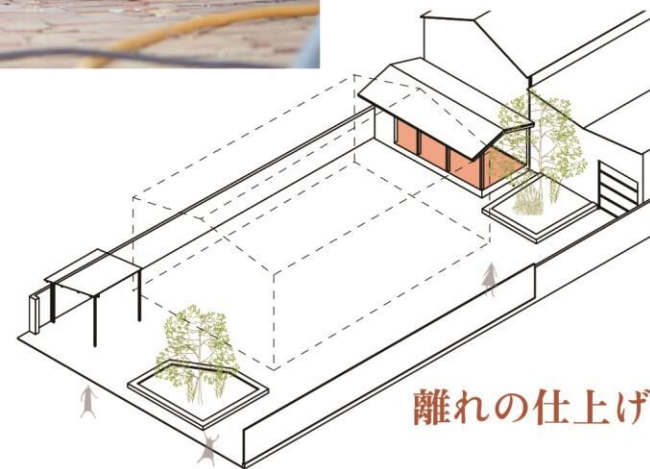
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



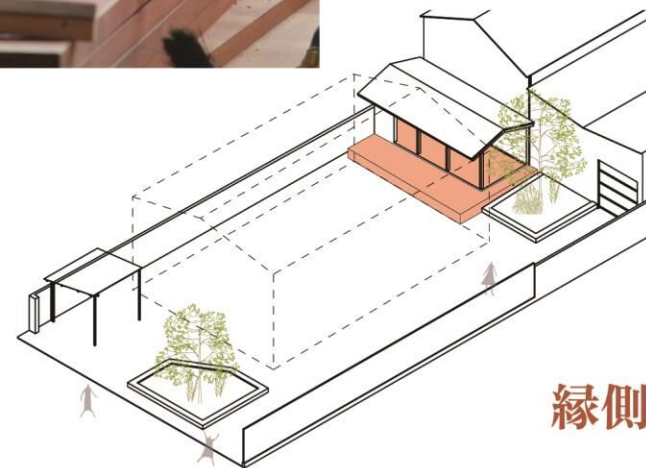
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



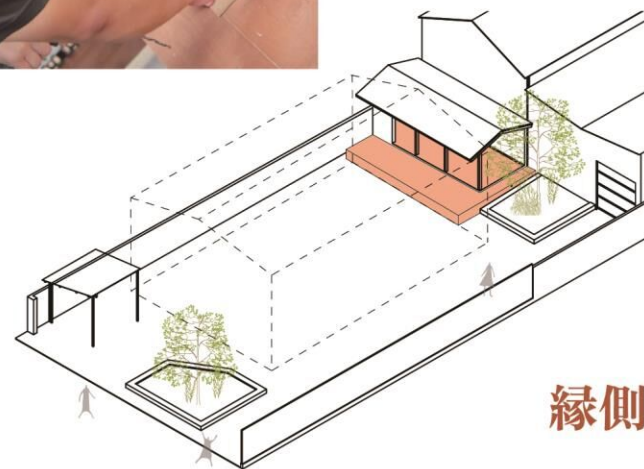
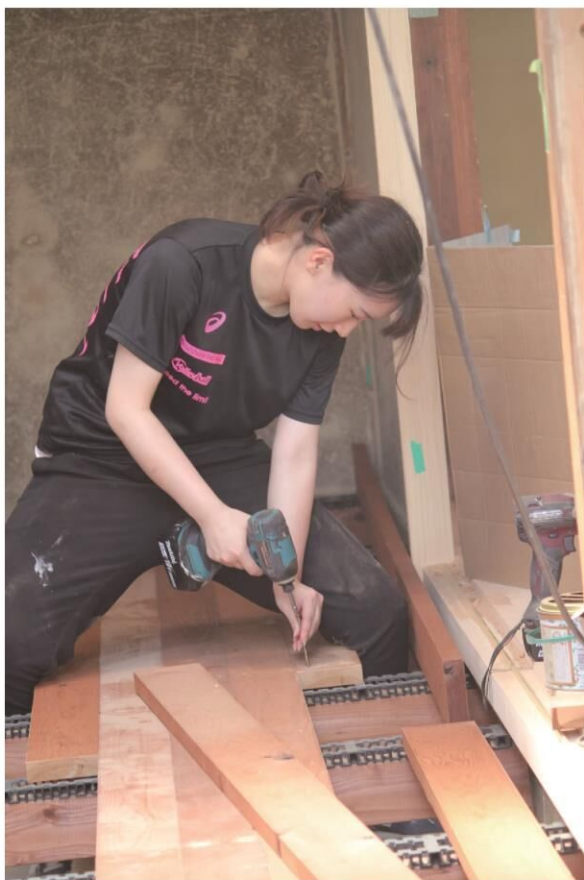
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

3) 作業工程&作業写真



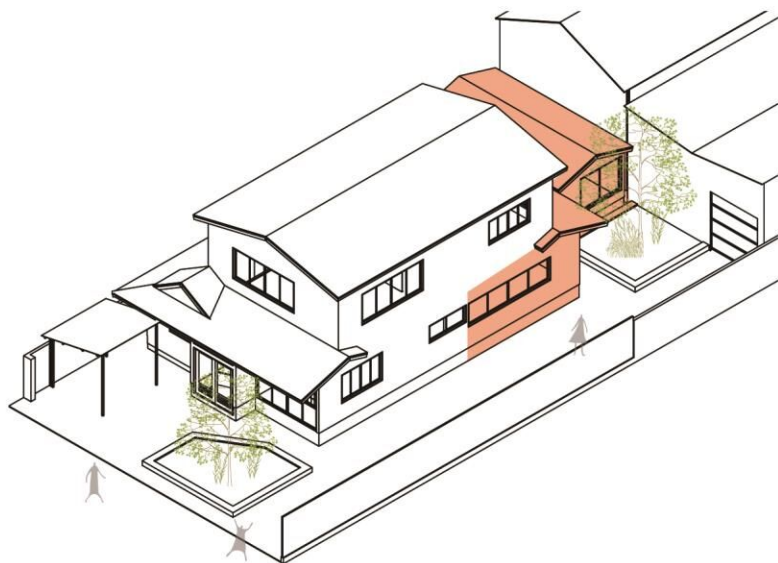
洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

4) メディアへの掲載

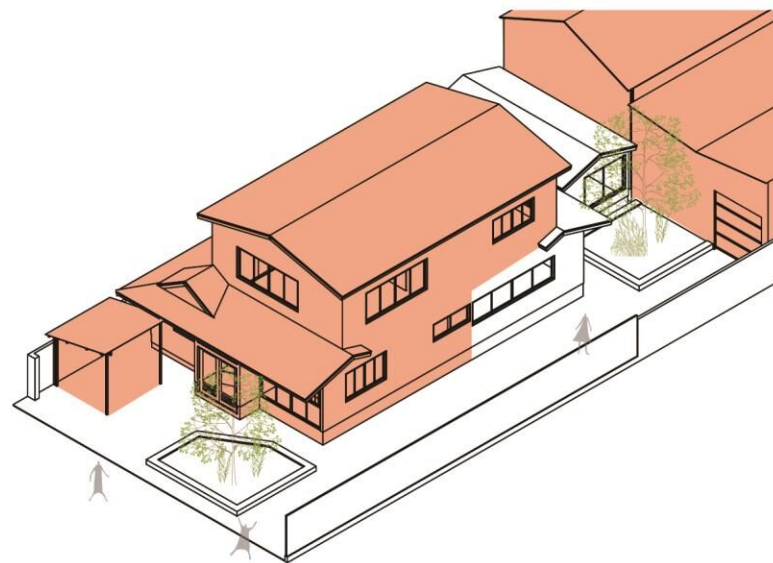


洲本市地域交流拠点施設リノベーション事業

5) 今後の方針



〈2023年度工事〉



〈2024・2025年度工事予定〉

最後に

ご清聴ありがとうございました。